

XI 環境問題

1 環境学習

近年、環境問題が大きくクローズアップされ、学校の社会的責任としても取り組むべきテーマになっています。本学には環境に関わる授業が多くあり、また、正課外でもエコツアーや環境関連の講座を実施しています。そのような取り組みをパンフレット「環境学習への取組」にまとめ、環境問題への学生の意識を高めています。

3 ビオトープ

本館屋上の一隅に小規模ながらビオトープ（生物生息空間）があります。池にはメダカ、ミナミヌマエビ、カワニナなどの水生生物が住み、池の周りには季節ごとに花を咲かせる約30種類の木や草が茂り、トンボや蝶、セミなども飛んできます。皇居の緑豊かな自然と都心のオフィス街を眼下に望むことができる屋上庭園は、学生が授業の合間や昼休みなどにリフレッシュできる憩いの場となっており、屋上緑化によるヒートアイランド現象の緩和にも寄与しています。



5 省エネルギー

教職員から成る省エネルギー推進委員会が、国や都によって定められた温室効果ガス排出基準値を上回らないよう、省エネルギーのための方策を検討し、実行しています。室温や照明の管理をする一方、環境保全の必要性を全学生に訴えています。

2 エコ照明

本館西口通用門付近に小さな太陽光発電のパネルがあり、その傍の照明はそれによって電力を供給されています。とても小さな規模ですが、ここを出発点として、エコへの取り組みを大きく発展させてゆきたいと願っています。



4 雨水利用

本学に隣接している区道は大雨や台風による冠水が5～10年に1回くらいの割合で発生しています。そのため、本館屋上の雨水をそのまま公共下水道に流さずに、まず地下に設けられた雨水貯水槽に流し込み、地域の雨水流出抑制に貢献しています。それと同時に、貯水槽に貯まった雨水を、塩素で消毒した後にトイレの洗浄や冷温水発生器の冷却に使用するなどして、エコにも貢献しています。



XII 防災

1 防災訓練

火災や地震等の災害に備えて毎年訓練を行っています。

12月初旬に希望者を募り、千代田区役所や神田消防署の指導のもと、起震車や煙ハウスの体験、消火器、消火ホースの使い方、通報訓練、伝言ダイアルの利用方法等を通じて、防災への経験と心構えを身につけます。また、学内の防災設備や備蓄倉庫等の見学も行っています。



2 緊急避難訓練

授業時間中に災害が起きたことを想定し、学内に緊急放送をかけ、安全確認シートを用いて学生を指定の避難場所へ誘導する訓練を実施しています。実際に授業時間の一部を使って訓練を行うため、防災訓練とは別に毎年実施しています。当日は神田消防署からのご指導をいただいています。



3 防災設備

消防法その他で定められている防災設備を完備していることは言うまでもありませんが、その他に、例えば教室・研究室を含む全室の非常用照明装置や本館地下のスプリンクラーなど、規定外のものも備えて万全を期しています。

4 災害用備蓄品

「学生3日分の確保として、乾パン、ビスケット、袋詰ご飯など、食品約4万食、水4万本、毛布およびレスキューシート約5千枚、生理用品約4千個、簡易トイレ約3千個などを常備し、キャンパス内数か所に分散し保管しています。

